

2011年3月期第1四半期(2010年6月) 連結決算発表総合表

2010年7月30日
双日株式会社

決算の主要特徴点

◆ 当第1四半期の業績は、景気の緩やかな回復とともに、一部の事業を除き取扱いの増加、価格の回復があった結果、売上高、売上総利益ともに増加となった。
また、持分法適用関連会社においても業績が改善したことにより、持分法による投資利益も増加した結果、経常利益および当期純利益の段階においても対前年同期比で増益となった。
(括弧内は前年同期比)

売上高 9,583 億円 (+612 億円 / +6.8%)

- ・ 合金鉄などの価格回復および取扱い数量の増加によるエネルギー・金属の増加
- ・ メタノールなどの価格上昇およびアジア地域での需要回復による化学品・合成樹脂取引の増加

売上総利益 448 億円 (+72 億円 / +19.1%)

- ・ 海外肥料事業の収益改善
- ・ メタノール価格上昇などによる化学品取引の増益

経常利益 108 億円 (+159 億円)

- ・ 売上総利益の増益による営業利益の改善
- ・ 鉄鋼関連会社など持分法による投資利益の増加

当期純利益 66 億円 (+82 億円)

- ・ 経常利益の改善により当期純利益が改善

◆ 2011年3月期 通期業績見直し

売上高 4 兆 2,100 億円
営業利益 400 億円
経常利益 260 億円
当期純利益 110 億円

- (前提条件)
- ・ 為替レート(年平均 ¥/US\$) : 90
 - ・ 原油(Brent) 価格(年平均 US\$/BBL) : 80

◆ 2011年3月期 配当(予想)

中間配当 : 1株当たり 1円 50銭
期末配当 : 1株当たり 1円 50銭

要約損益計算書

	当四半期			左記○部分の摘要	当期見直し	
	実績 a	前年同期実績 b	増減 a-b		c	進捗率 a/c
売上高	9,583	8,971	612	売上高	42,100	23%
エネルギー・金属セグメント			+343	エネルギー・金属セグメント		
化学品・機能素材セグメント			+294	化学品・機能素材セグメント		
機械セグメント			+23	機械セグメント		
生活産業セグメント			-43	生活産業セグメント		
売上総利益	448	376	72	売上総利益	2,050	22%
(売上総利益率)	(4.67%)	(4.19%)	(0.48%)	生活産業セグメント	(4.87%)	
化学品・機能素材セグメント			+26	化学品・機能素材セグメント		
エネルギー・金属セグメント			+9	エネルギー・金属セグメント		
機械セグメント			-9	機械セグメント		
人件費	-196	-200	4			
物件費	-155	-160	5			
減価償却費	-13	-13	0			
(小計)	(-364)	(-373)	(9)			
貸倒引当金繰入・貸倒償却	-5	-19	14			
のれん償却額	-13	-13	0			
(販管費計)	(-382)	(-405)	(23)			
営業利益	66	-29	95			
(営業利益率)	(0.69%)	(-)			(0.95%)	
受取利息	10	15	-5			
支払利息	-61	-69	8			
(金利収支)	(-51)	(-54)	(3)			
受取配当金	13	20	-7			
(金融収支)	(-38)	(-34)	(-4)			
持分法による投資利益	83	5	78	鉄鋼関連会社(+38)、バイオエタノール生産会社(+25)		
その他営業外収支	-3	7	-10			
(営業外収支計)	(42)	(-22)	(64)			
経常利益	108	-51	159		260	42%
固定資産売却益	18			保有船舶等の売却益		
投資有価証券売却益	2					
持分変動利益	1					
負ののれん発生益	3					
貸倒引当金戻入額	4					
(特別利益小計)	(28)	(37)	(-9)			
固定資産除売却損	-1					
減損損失	-6					
投資有価証券等評価損	-2					
持分変動損失	-5					
関係会社等整理・引当損	-9					
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-10			会計基準変更に伴う期首影響額		
(特別損失小計)	(-33)	(-6)	(-27)			
(特別損益計)	(-5)	(31)	(-36)		0	-
税引前当期純利益	103	-20	123		260	40%
法人税等	-21	-16	-5			
法人税等調整額	-13	18	-31			
(法人税等合計)	(-34)	(2)	(-36)			
少数株主損益調整前当期純利益	69	-18	87		130	53%
少数株主損益	-3	2	-5			
当期純利益	66	-16	82		110	60%
基礎的収益力	116	-39	155			

(注1) 基礎的収益力

基礎的収益力=営業利益(貸倒引当金繰入・貸倒償却控除前)+金利収支+受取配当金+持分法による投資利益

(注2) 将来情報に関するご注意

上記の業績見直しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、従い、実際の業績等は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動など様々な要因により大きく異なる可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせいたします。

要約貸借対照表と主要経営指標

	10/6月末			左記○部分の摘要
	残高 d	10/3月末残高 e	増減 d-e	
流動資産	12,920	12,853	67	
現金及び預金	4,314	4,557	(243)	借入金の返済および取引伸長に伴う使用資金の増加
受取手形及び売掛金	4,732	4,623	109	機械および木材の増加
有価証券	66	61	5	
たな卸資産	2,705	2,486	219	煙草および肥料の増加
短期貸付金	83	79	4	
繰延税金資産	142	135	7	
その他の流動資産	975	1,002	-27	
貸倒引当金	-97	-90	-7	
固定資産	8,587	8,752	-165	
有形固定資産	2,169	2,227	-58	
のれん	532	543	-11	
無形固定資産	624	601	23	
投資有価証券	3,160	3,278	(-118)	株価下落による減少等
長期貸付金	248	251	-3	
固定化営業債権	844	884	-40	
繰延税金資産	629	614	15	
投資不動産	534	533	1	
その他の投資	394	393	1	
貸倒引当金	-547	-572	25	
繰延資産	4	4	0	
資産合計	21,511	21,609	-98	
流動負債	8,423	8,415	8	
支払手形及び買掛金	3,948	3,774	174	機械および肥料の増加
短期借入金	2,394	2,567	(-173)	返済による減少
コマシヤル・ハ・ハ	70	100	(-30)	
1年内償還予定の社債	501	401	100	1年内組替(+200)、償還(-100)
その他の流動負債	1,510	1,573	-63	
固定負債	9,381	9,420	-39	
社債	1,134	1,236	(-102)	発行(+100)、1年内組替(-200)
長期借入金	7,659	7,631	28	
退職給付引当金	125	133	-8	
その他の固定負債	463	420	43	
負債合計	17,804	17,835	-31	
資本	1,603	1,603	-	
資本剰余金	1,522	1,522	-	
利益剰余金	1,517	1,465	52	当期純利益(+66)、会計基準変更の影響(-13)
自己株式	(-2)	(-2)	0	
(株主資本)	(4,640)	(4,588)	(52)	
その他有価証券評価差額金	74	148	(-74)	株価下落による減少等
繰延ヘッジ損益	19	24	-5	
土地再評価差額金	-21	-21	0	
為替換算調整勘定	-1,252	-1,215	(-37)	海外関係会社の換算差額
(評価・換算差額等)	(-1,180)	(-1,064)	(-116)	
少数株主持分	247	250	-3	
純資産合計	3,707	3,774	-67	
負債・純資産合計	21,511	21,609	-98	

GROSS 有利子負債	11,758	11,935	-177	
NET 有利子負債	7,444	7,378	66	
NET 負債倍率	* 2.15倍	* 2.09倍	0.06倍	※ NET負債倍率の分母および自己資本比率の分子は、少数株主持分を除いて計算しております。
自己資本比率	* 16.1%	* 16.3%	-0.2%	
流動比率	153.4%	152.7%	0.7%	
長期調達比率	74.8%	74.3%	0.5%	

2011年3月期 第1四半期(2010年6月) 連結決算発表総合表 補足資料

2010年7月30日
双日株式会社

(単位: 億円)

P/L	2010年 4-6月期	2009年 4-6月期	増減	11/3期 見通し	進捗率	10/3期 実績
売上高	9,583	8,971	+ 612	42,100	22.8%	38,444
売上総利益	448	376	+ 72	2,050	21.9%	1,782
(売上総利益率)	(4.67%)	(4.19%)	(+0.48%)	(4.87%)		(4.64%)
機械	120	129	▲ 9	610	19.7%	562
エネルギー・金属	97	88	+ 9	470	20.6%	371
化学品・機能素材	91	65	+ 26	370	24.6%	319
生活産業	124	74	+ 50	530	23.4%	465
その他	16	20	▲ 4	70	22.9%	65
販管費	▲ 382	▲ 405	+ 23	▲ 1,650	23.2%	▲ 1,621
営業利益	66	▲ 29	+ 95	400	16.5%	161
(営業利益率)	(0.69%)	-		(0.95%)		(0.42%)
営業外収支	42	▲ 22	+ 64	▲ 140	-	▲ 24
経常利益(※1)	108	▲ 51	+ 159	260	41.5%	137
(経常利益率)	(1.13%)	-		(0.62%)		(0.36%)
機械	▲ 25	▲ 36	+ 11	▲ 15	-	▲ 41
エネルギー・金属	88	11	+ 77	210	41.9%	126
化学品・機能素材	18	▲ 13	+ 31	50	36.0%	29
生活産業	10	▲ 55	+ 65	15	66.7%	▲ 41
その他	17	42	▲ 25	0	-	64
特別損益	▲ 5	31	▲ 36	0	-	52
税引前当期純利益	103	▲ 20	+ 123	260	39.6%	189
少数株主損益調整前当期純利益	69	▲ 18	+ 87	130	53.1%	106
当期純利益	66	▲ 16	+ 82	110	60.0%	88
機械	▲ 17	▲ 30	+ 13	▲ 40	-	10
エネルギー・金属	63	8	+ 55	155	40.6%	235
化学品・機能素材	9	▲ 8	+ 17	25	36.0%	12
生活産業	2	▲ 34	+ 36	0	-	▲ 32
その他	9	48	▲ 39	▲ 30	-	▲ 137
基礎的収益力(※2)	116	▲ 39	+ 155	335	34.6%	144

(※1) 当期より、航空・空港関連の流通・サービス業は、「その他事業」から「生活産業」へ事業区分を変更しております。
また、社内における費用の配賦方法を一部変更しております。「2009年4-6月期」の実績につきましても、変更後の事業区分および費用の配賦方法に基づき、記載しております。

(※2) 基礎的収益力=営業利益(貸倒引当金繰入・貸倒償却控除前)+金利収支+受取配当金+持分法による投資利益

(単位: 億円)

B/S	10/6末	10/3末	増減	11/3末見通し
総資産	21,511	21,609	▲ 98	21,200
自己資本(※3)	3,460	3,524	▲ 64	3,600
(純資産合計)	(3,707)	(3,774)	(▲ 67)	-
自己資本比率(%)	16.1%	16.3%	▲0.2%	17.0%
ネット有利子負債	7,444	7,378	+ 66	8,000
ネットDER(倍)	2.15	2.09	+ 0.06	2.2
(ネットDER(倍) 純資産合計ベース)	(2.01)	(1.95)	(+ 0.06)	

(※3) 自己資本=純資産の部合計 - 少数株主持分

(※4) 将来情報に関するご注意
上記の業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従い、実際の業績等は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動など様々な要因により大きく異なる可能性があります。重要な変更事象が発生した場合は、適時開示等にてお知らせいたします。

前年同期比増減要因	足元の状況
<p>●機械部門</p> <p>・プラント・産業機械の取扱高が増加するも、保有船事業における備船料の減少や中南米の自動車事業会社の減益等により売上総利益は減益</p> <p>・一方、販管費の改善、持分法投資利益の増加、保有船舶の売却益を計上したこと等により、経常利益、当期純利益ともに増益</p> <p>●エネルギー・金属部門</p> <p>・合金鉄などにおける価格上昇、取扱数量の増加等により売上総利益増益</p> <p>・業績が堅調であった鉄鋼関連会社や統合により一時的な利益が発生したバイオエタノール生産会社などの持分法投資利益が増加し、経常利益、当期純利益ともに大幅増益</p> <p>●化学品・機能素材部門</p> <p>・中国・アジアの需要回復による取扱高増加およびメタノール価格上昇により増益</p> <p>●生活産業部門</p> <p>・海外肥料事業の収益改善等で食料資源が大きく伸長し、売上総利益、経常利益、当期純利益ともに増益</p> <p>●その他</p> <p>・持分法投資利益の減少、前年同期に一過性の特別利益があったことに伴い減益</p>	<p>●機械部門</p> <p>第1四半期は、中南米、ロシア・NIS地域の自動車事業会社が不振であったが、操業安定化、在庫水準適正化により、予定通り下期にかけて収益は回復見込み。また、新興国を中心にプラント等の機器取引増加が見込まれ、概ね見通し通り。</p> <p>●エネルギー・金属部門</p> <p>第1四半期は、中国等海外の旺盛な鉄鋼需要などにより、鉄鋼関連事業を中心に堅調に推移した。下期にかけて、石炭等の生産量の増加が見込まれているが、市況の不透明感が増している点が懸念される。</p> <p>●化学品・機能素材部門</p> <p>第1四半期は中国・アジアを中心とした需要回復の影響によって物流取引が堅調に推移しており、概ね見通し通り。</p> <p>●生活産業部門</p> <p>第1四半期は、好調な海外肥料事業の影響で業績は堅調に推移したが、今後の海外肥料事業における季節要因等を織り込み、結果的に通期は計画通りとなる見込み。</p> <p>●その他</p> <p>概ね見通し通り。</p>

商品市況・為替	2009年 市況実績 (年平均)	2010年 市況見通し (年平均)	2010年市況実績		
			10年1~3月平均	10年4~6月平均	10年1~6月平均
原油(Brent) (*1) (\$/bbl)	\$62.6/bbl	\$80/bbl	\$76.2/bbl	\$78.3/bbl	\$77.3/bbl
石炭(一般炭) (*2) (\$/トン)	\$72.5/t	\$98/t	\$94.4/t	\$99.9/t	\$97.2/t
モリブデン (\$/ポンド)	\$11.0/lb(ポンド)	\$15/lb	\$15.6/lb	\$16.4/lb	\$16.0/lb
ニッケル (\$/ポンド)	\$6.7/lb(ポンド)	\$7/lb	\$9.1/lb	\$10.2/lb	\$9.6/lb
為替 (*3) (¥/\$)	12月決算 ¥93.7/\$ 3月決算 ¥92.6/\$	¥90/\$	¥90.7/\$	¥91.3/\$	¥91.0/\$

*1 原油の収益感応度 \$1/bbl変動すると、経常利益で約2億円の影響

*2 石炭(一般炭)は基本的に年間契約であり、直近のSPOT価格の影響は殆ど受けない。また、上記市況実績・見通しは当社の販売価格とは異なる

*3 為替の収益感応度(米ドルのみ) ¥1/\$変動すると、売上高で40億円程度、経常利益で1億円程度、自己資本で15億円程度の影響